

障害科学研究

2023年3月31日発行

第47巻

原著

- 1 小林 愛佳・岡崎 慎治
定型発達成人における自閉スペクトラム症傾向および発達性協調運動症傾向と動作観察・遂行時の脳波周波数との関連

資料

- 13 佐藤 主馬・宮川 拓人・末吉 彩香・柘植 雅義
不登校に関する研究の主題とその動向
—過去30年間の文献に対するテキストマイニングを用いた検討—
- 25 澤田 祐輝・柘植 雅義
2Eの可能性がある小学生の同定に向けた教師用チェックリストの適用可能性の検討
—A小学校通級指導教室担当教師による2Eのスクリーニングの事例から—
- 37 岡部 帆南・澤田 祐輝・柘植 雅義
発達障害のある児童が過ごしやすい学級経営を行う学級担任の教育的対応の特徴に関する質的研究—修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチによる分析—
- 53 藤本 夏美・松田 壮一郎・野呂 文行
自閉スペクトラム症のある幼児・児童における提示する課題の種類数が課題従事行動の促進に及ぼす効果の比較
- 63 伊藤 由美・柘植 雅義
通級による指導を受ける児童生徒の「指導に対する意識」と担当者の「指導の内容」に関する研究

実践報告

- 79 宮野 雄太
知的障害特別支援学校の担任を対象にした「協働アセスメント」と「5分間ミーティング」による協働促進に関するアクションリサーチ
- 95 三益 亜美・申 怡娜・澤田 浩子
外国にルーツのある児童生徒への学習障害に関するアセスメントの現状の課題
—学習障害が疑われる外国にルーツのある中学生一例からの考察—
- 109 鈴木 南帆子・青柳 まゆみ
盲児の触地図読解に向けた導入的指導法の検討
—具体物教材と図の往還的使用による授業実践—



投稿規定

1. 本誌は、障害科学学会の機関誌であり、年1巻発行する。なお巻号は前身の雑誌である「心身障害学研究」を引き継ぐものとする。
2. 本誌の執筆者は障害科学学会会員に限る。
3. 本誌の編集は、障害科学学会編集委員会の責任のもとに行われる。
4. 本誌には未公開の和文または英文で書かれた障害科学に関する「原著論文」、「資料論文」、「短報」、「展望論文」などオリジナルな学術論文、実践報告会等でモデルとなりうるような「実践報告」のほか、編集委員会が認めた論文等を掲載する。
 - (1) 原著論文は、理論、実験、事例、実践等に関する研究論文とする。
 - (2) 資料論文は、原著論文に準じた内容で、資料性の高い研究論文とする。
 - (3) 短報は、研究成果の速報や一次的な報告とする。
 - (4) 展望論文は、障害科学に関係のある課題について、内外の諸研究の成果を概観し、総合的に展望した研究論文とする。
 - (5) 実践報告は、実践報告会、事例研究会等でモデルとなりうる報告とする。
5. 論文は、査読委員によって審査され、編集委員会において、その掲載の可否が決定される。
6. 規定枚数を超過したもの、および図表、写真等の製版・印刷等、特に費用を要するものは、別途執筆者の負担とする。
7. 別刷りは執筆者の負担とする。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は障害科学学会に帰属し、無断で複製あるいは転載することを禁ずる。
9. 投稿論文の内容について、十分に人権および倫理上の配慮がなされていなければならない。

執筆規定

1. 原稿の仕様 原則としてワープロを用い、A4判用紙に25字×32行（800字）で印字された原稿を提出すること。A4判用紙の原稿2.5枚は刷り上がり1頁に相当する。和文では、本文、文献、図表、要約をすべて含めた論文の刷り上がり頁数は、原著論文、資料、実践報告、展望は10頁を上限とする。英文では、本誌8頁（approximately 550 words per page; including Abstract, References, Tables, and Figures）を上限とする。また、短報は和文で5頁、英文で4頁とする。これを超過する論文については、編集委員会で掲載の可否を決定する。
2. 提出原稿 原著論文・資料ともに、オリジナル1部とコピー2部を添えて提出すること。また提出原稿はA4判とし、表紙には和文表題、英文表題、執筆者名、代表者の連絡先（電話番号を含む）を明記すること。なお、論文採択後には電子ファイルを提出する。
3. 図表など 白紙に黒色インクで明瞭に書かれたものを用い、写真を用いる場合は鮮明なものを提出すること。表や図の番号はTable 1, Fig. 1のように記入し、表題、説明ともに一括して別紙に記載すること。また、本文中にその挿入箇所を明示すること。
4. 和文要約 和文論文および英文論文には、問題、方法、結果、結論の大意をほぼ把握できるように、和文で400字以内の要約と3～5項目の和文キーワードを本文とは別葉にて提出すること。
5. 英文要約 和文論文および英文論文には、英文表題、200～300ワードの英文要約、3～5項目の英文Key Wordsを本文とは別葉にて提出すること。
6. 表記 新かなづかい、常用漢字、算用数字を用いること。外国人名・地名等の固有名詞以外はなるべく訳語を用い、必要な場合は初出の際にだけ原語を付す。文献は論文の最後にアルファベット順に一括して示すこと。雑誌文献記述の形式は、著者名、発行年、題目、雑誌名、巻数、論文所在頁の順とし、単行本文献記述の形式は、著者名、発行年、書名、出版社、出版地の順とする。
7. 註 必要がある場合は、本文中に1)、2) …のように上付きの通し番号で註を付し、すべての註を本文と文献欄の間に番号順に記載すること。
8. 印刷形式 印刷の体裁は編集委員会に一任する。
9. その他 執筆に関する詳細は、日本特殊教育学会の『「特殊教育学研究」和文論文執筆の手引き』と、最新のJournal of Special Education Researchの表紙裏Information for Contributorsに従うこと。

編集委員長	野呂 文行 (筑波大学)		
編集委員(理事)	相澤 宏充 (福岡教育大学)	岡崎 慎治 (筑波大学)	
	河合 康 (上越教育大学)	小林 秀之 (筑波大学)	
	小林 宏明 (金沢大学)	左藤 敦子 (筑波大学)	
	佐藤 将朗 (上越教育大学)	塩川 宏郷 (実践女子大学)	
	園山 繁樹 (島根県立大学)	高野 聡子 (東洋大学)	
	宮本 昌子 (筑波大学)	米田 宏樹 (筑波大学)	
査読委員	石川由美子 (宇都宮大学)	岡 典子 (筑波大学)	
	岡崎 慎治 (筑波大学)	大石 幸二 (立教大学)	
	区 潔萍 (関西外国語大学)	柿澤 敏文 (筑波大学)	
	熊谷 恵子 (筑波大学)	小島 道生 (筑波大学)	
	小林 秀之 (筑波大学)	小林 宏明 (金沢大学)	
	佐々木銀河 (筑波大学)	三盃 亜美 (筑波大学)	
	佐藤 将朗 (上越教育大学)	園山 繁樹 (島根県立大学)	
	丹治 敬之 (岡山大学)	高橋 甲介 (長崎大学)	
	高野 聡子 (東洋大学)	武居 渡 (金沢大学)	
	鄭 仁豪 (筑波大学)	柘植 雅義 (筑波大学)	
	野呂 文行 (筑波大学)	半田 健 (宮崎大学)	
	別府さおり (東京成徳大学)	松岡 勝彦 (山口大学)	
	宮本 昌子 (筑波大学)	宮内 久絵 (筑波大学)	
	森地 徹 (筑波大学)	LAMICHHANE KAMAL (筑波大学)	
	渡部 匡隆 (横浜国立大学)		
編集幹事	小泉 愛美 (筑波大学)	周 英實 (筑波大学)	
	矢部 愛子 (筑波大学)		

障害科学研究

第47巻 (2023, Vol. 47)

令和5年3月31日発行

編集 障害科学学会 編集委員会

発行 障害科学学会 会長 園山 繁樹

発行所 障害科学学会
〒305-0836 茨城県つくば市山中152-4
e-mail info@adsj.gr.jp

印刷所 前田印刷株式会社筑波支店
〒305-0836 茨城県つくば市山中152-4
電話 029 (875) 6696

Original articles

- 1 Aika KOBAYASHI and Shinji OKAZAKI
 Relationship between Tendency of Autism Spectrum Disorder and of Developmental Coordination Disorder and EEG Frequency during Motion Observation / Motion Execution in Typically Developing Adults

Brief Notes

- 13 Kazuma SATO, Takuto MIYAKAWA, Ayaka SUEYOSHI and Masayoshi TSUGE
 Investigation into the Transition of Themes and Trends of Studies on Truancy: A Text-mining Study of the Literature over the Past 30-years
- 25 Yuuki SAWADA and Masayoshi TSUGE
 A Study of the Applicability of a Teacher's Checklist for the Identification of Elementary School Students with 2E Possibility: A Case Study of 2E Screening by Resource Room Teachers in a Elementary School
- 37 Honami OKABE, Yuuki SAWADA and Masayoshi TSUGE
 A Qualitative Study on the Characteristics of Classroom Teachers' Pedagogical Responses for Classroom Management that is Comfortable for Children with Developmental Disabilities
- 53 Natsumi FUJIMOTO, Soichiro MATSUDA and Fumiyuki NORO
 Comparison of the Effects of the Number of Task Types Presented on Increasing On-Task Behavior in Children with Autism Spectrum Disorders
- 63 Yumi ITO and Masayoshi TSUGE
 A Study of Students' Attitudes toward Instruction and Support in the Resource Room and the Contents of Teachers' Guidance

Practical Report

- 79 Yuta MIYANO
 An Action Research on Promoting Collaboration through "Collaborative Assessment" and "5-Minute Meetings" for Homeroom Teachers of a Special Needs Education School for Children with Intellectual Disabilities
- 95 Ami SAMBAI, Yina SHIN and Hiroko SAWADA
 Issues in the Assessment of Learning Disabilities for Students with Foreign Roots: A Consideration from a Case Study of a Junior High School Student Suspected of Learning Disabilities
- 109 Nahoko SUZUKI and Mayumi AOYAGI
 Examination of an Introductory Teaching Method Aimed at Enabling Children with Blindness to Read Tactile Maps: From Classroom Practice of Using Concrete Teaching Materials and Diagrams Alternately